

37. 10. 15 発行

人 長一郎

佐呂間町長

人 係

務 人 印 刷

庶 人 印 刷

課 刷 間

務 印 呂

佐 佐

世帯数 2,840

人口 15,442

男 7,760

女 7,682

9月末日住民登録人口

さろま



(町長より陳情を受ける中島副知事)

中島副知事来町

◎台風九号十号及び降雨災害 対策について陳情

中島副知事、道議会議員天谷平信、同林利博、網走支店長、網走土木現業所長一行は台風九号、十号並びに降雨による管内災害状況観察のため九月二十七日来町、佐呂間公民館において町長より本町災害状況を説明、今後の諸対策と

して、災害資金の導入、種子購入費に対する助成、賃金収入の確保、公共事業の復旧促進、町緊急対策の財源確保等の事項について陳情をうけたあと町内の富武士、知来仁倉地区の農作物の被害状況について視察をせられました。



さるま湖名産

かき貝の収穫はじまる

野山の草木が紅葉し、農作物の取り入れが最盛期になる頃に、サロマ湖でも名産のかき貝の収穫がはじまる。

このサロマ湖名産かき貝は養殖によるもので、農家の方々が島にイモやビートを蒔き、秋になると収穫する様に、かき貝も春四月頃湖

内に種かきをつるし、秋九月二十日頃から収穫がはじまる。

このかき貝の養殖は、昭和二十三四年頃漁家の副業として試験的に行つてみたところ、よい成績であったため昭和二十六年から本格的に養殖をはじめたものである。

よサロマ湖のかきも本格的な養殖生産が期待される様になつた。

今はまだ収穫がはじまつたばかりのため価格も四キロ（約一貫目）のかき清浄施設（かきむき場）がつくられ、今年は浜佐呂間に同じ様な清浄施設が完成し、いよいよサロマ湖のかきも本格的な養殖生産が期待される様になつた。

庶民階級の口には入りかねるが、十一月頃になると六百五十円程度になるので誰でも思う存分食べれる

（毎号綴て保存して下さい）

や福島県へ当地の帆立貝殻を繩につるしたものを見毎年五月頃に送りしたのち翌年四月頃冷凍車で持つて来て、さるま湖に筏にしてつるしと夏ごして秋に収穫されるかきの产地としては、広島、松島厚岸など全国に四、五ヶ所の产地があるが、特にサロマ湖のかきは品質もよく美味であるとの定評で遠く東京まで飛行機で送られて

いる。

昨年はかきむき作業員の赤痢発生により大きな痛手をうけたが、今年は貝の成長もよく、収穫当初から昨年の様な痛手をうけぬ様、作業員の厳重な健康診断や、完全な滅菌を行つて出荷しているので、予想の収穫はあげられるものと待されている。

本年佐呂間町区域で養殖された分の生産があがる予定である。当初副業的にはじめたかきの養殖も今では漁獲高の大きなウエートをしめ副業と云うよりも、むしろ主業と云う方がピツタリ来る様になり、昨年は約五百万円の工費で富武士浜に、約三百六十五平方メートルのかき清浄施設（かきむき場）がつくられ、今年は浜佐呂間に同じ様な清浄施設が完成し、いよいよサロマ湖のかきも本格的な養殖生産が期待される様になつた。

農作物被害対策本部

設置さる

台風九号十号、並びに七月下旬より八月下旬に至る長期降雨による災害のため、町内全域に亘り農作物の穂發芽、腐敗等大きな被害を受けました。被害農家総数千三百六十三戸、被害見込額は水稻の一億八百万円をはじめとして総額三億三千七百万円にのぼる多額な被害が見込まれております。

このため町においては去る九月十四日開催の臨時第五回町議会において協議の結果被害対策本部設置を決定、九月二十一日第一回佐呂間町農作物被害対策本部会議を開催し、今後の事態処理のための諸対策について強力に推進することになりました。

佐呂間町農作物被害対策本部機関

本部長 佐呂間町長
副本部長 佐呂間農協組合長

若佐農協組合長
本部委員
町議会議長、副議長、各常任委員長、開協組合長、共済組合長
農業委員会長、助役
諸対策事項
一、緊急対策について
災害資金の導入
種子の購入費助成
賃金收入の確保
越冬用飼料の助成
公共事業の復旧促進
薪炭材処分の価格の引下及び延納処置
町緊急対策の財源確保
二、恒久対策について
佐呂間別川の治水事業の促進
農産物乾燥施設材の払下げ
有資農業経営基盤形成に対する助成

粘土工作より楽焼きまで！

△浪速小学校の造形教育



(作品を前に浪速小学校の生徒たち)

町内浪速小学校（二学級児童数二十八名）の氏家校長は海野教諭とともに「人造り」は先ず情操的創造的な人間育成の造形教育からと図工科に粘土工作を取り上げ、學習指導を始めてから約三年をかけて効果を挙げてきたが、単に學習上の指導だけでは稀少価値だとして更に一步を進め原型に石膏をかぶせてより高い作品に仕上げる等から町教委よりの予算で、「素

選舉管理委員と補充員の方々がきました

方々の任期が十月二十四日を以て満了するため十月九日の臨時第六回町議会に議案提出がなされ指

り将米が楽しみだと好評であり、各家庭でも児童の持帰った作品を飾つて喜び合っている現状である。去る七日の「町内単複研究会」にも網走地方教育局金子指導主事よりその計画性、學習指導、作品価値において大いに賞讃されたところであり参列の各校長にも示唆するところが多かった。

同校は町内でも最も僻遠の部落所の学校（三級指定）であるが毎年「全国へき地学校音楽の集い」も開催され、今後は地元の農業者との連携を図ることで、地域活性化に貢献するところが多い。

遠軽地区予選に出場して優秀な成績を収め、更に町内音楽発表大会にも欠かさず出場してその意欲的な発表と團結は注目を集めている。

名推せんをもつて次の方々が満場一致で委員及び補充員に決定した選舉管理委員

宮前町 杉本 盤 再選

若生 豊田 通幸

启生 浜佐呂間 尾上 好勝

知来 山本 章

大成 大岩 玉一

仁倉 内藤 新

河村 正二

佐佐木 河村 正二

秋晴れの良い天候に恵まれた十月一日若佐家畜市場において第六回綜合家畜品評会が、町及び両農協共催で盛大に行われました。

出陳家畜は馬五十二頭、牛三十七頭、豚十九頭のなかより厳正な審査の結果一位入賞は次のとおり

若里第七

第六回綜合家畜品評会 団体一位 若里第七

◎団体

若里第七農事組合

共立才三農事組合

若里才二農事組合

柄木才三農事組合

以下省略しました。

※紙面の都合で牛、馬、豚は二位

五位 共立才三農事組合

三位 若里才二農事組合

四位 柄木才三農事組合

（当才牛）ハルコマ号中村寛（当才牛）栄勝号徳田栄治（二才）乙女号中原正一（三才以上）栄宝号田中松太郎

（当才牛）ハルコマ号中村寛（当才牛）栄勝号徳田栄治（二才）乙女号中原正一（三才以上）栄宝号田中松太郎

（十八ヶ月未満）マダムレブンバーカー・タヴィドソン号定久保男カーネーション・アイダロップ号長瀬義照（十八ヶ月以上未経産）

ロメオベツシー・ウォーカーロベル号宮島信作（十八ヶ月以上経産）

（一五〇日以上牝）鈴木兵三郎（一五〇日以上経産）ワカサ三五アキコナツ一峰鷲辰（一五〇日）

（一位マダムレブンバーグダヴィ

トソン号）

